

## 交響曲第5番はなぜこれほど愛されるのか？ 曲の構成からその秘密を探ろう

本題材で育成する資質・能力

「主体性」「協働的課題解決力」「振り返り力(メタ認知力)」

日 時 令和2年11月9日(月) 6校時(15:00~15:50)  
場 所 音楽室  
学年・組 第2学年A組B組(男子17名, 女14名, 計31名)

### 題材について

本題材は、鑑賞 B(1)ア「音楽を形づくっている要素や曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさをあじわうこと」を指導するものである。

教材曲「交響曲第5番ハ短調」では、第1楽章の第1主題に示される4つの音符からなる動機が、全ての楽章において繰り返し登場し、作品全体に統一感をあたえている。特に第1楽章は大変有名であり、冒頭の4つの音符からなる動機は誰もが一度は耳にしたことがある。その動機が、変化・反復を重ねながら何度も登場し、曲の印象を形づくっているため、動機を中心にどのように曲が組み立てられているかがつかみやすい。

曲の構成に注目し、曲の良さや面白さを文章で表現することを通して、曲全体の流れをつかみ、曲の構成と曲想とのかかわりを感じ取って聴くことができる題材である。

### 生徒観

本学級生徒は、意欲的に学習活動に取り組んでいる。歌唱表現活動では、曲の構成や記号の意味を確認し、どのように表現を工夫すればよいかを考える学習活動を通して、強弱を意識して歌ったり、曲全体の流れを考えて表現しようとしたりする姿が見られるようになってきている。鑑賞活動においても、曲の良さをしっかり聴き取ろうと意欲的に取り組んでいる。今年度、題材の導入時に、教材曲の特徴を音楽の諸要素ごとに書きだす学習活動に取り組んでいるが、強弱や速度以外の音楽の諸要素についての発言や文章表現が少ない。このことから、曲を聴く際に構成にあまり注目しておらず、曲の構成と曲想とのかかわりについて十分に理解できていないと考えられる。

### 指導観

【本校の育成しようとする資質・能力】

○主体性 ○協働的課題解決力 ○振り返り力(メタ認知力)

指導にあたっては、「この曲が人々に愛され、誰もが聴いたことのある曲となっているのは、どのような良さやおもしろさがあるからだろうか」を課題として設定し、どのような特徴があるのかを考えさせる。まず、第1楽章について、冒頭の動機を解決のヒントとして注目させ、動機がどのようにあられ組み立てられているのか、曲の構成について気づかせたい。聴き取るだけでなく楽譜からも探れるように、スコアの見方を確認し、多角的に考えさせる。グループでの聴き合いを通して、気づいた特徴が曲にどのような効果や感じをあたえているかをつ

かませたい。その後、他の楽章ではどのようにになっているかを学習し、最後にもう一度鑑賞して課題に対する自分なりの考えを書く活動を行う。学習したことをふまえて自分の考えをまとめることで、より主体的に、また深く曲の良さについて考えさせたい。

## 単元の目標と評価規準

### <単元の目標>

・曲の構成と曲想のかかわりを理解し、その良さ、面白さを味わって聴く

【B 鑑賞(1)ア】(共通事項 リズム, 旋律, 形式, 構成)

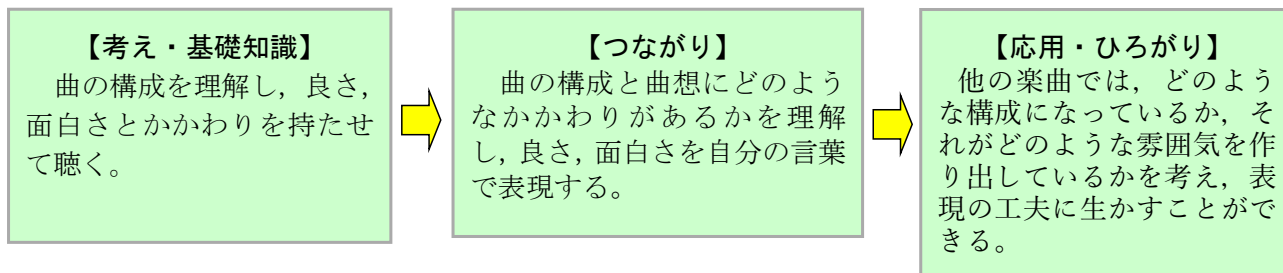
### <評価規準>

ア 音楽への関心・意欲・態度	エ 鑑賞の能力
①オーケストラの響き、動機や主題の反復や変化、旋律の組み合わせ方、ソナタ形式と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	①オーケストラの響き、動機や主題の反復や変化、旋律の組み合わせ方、ソナタ形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 ②知覚・感受しながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして音楽の良さや美しさを味わって聴いている。

### ○本単元で身に付けさせたい資質・能力と評価規準

資質・能力	主体性 (自ら課題を見いだす力)	協働的課題解決力 (協力しながら課題を解決する力)	振り返り力 (メタ認知力)
I (基礎的知識)	【課題発見と解決方策】 ○曲の良さ、面白さを見つけようとしている	【思考力・判断力・表現力等】 ○どのような特徴があるか、気づいたことを伝えようとしている。	【知識・技能の理解】 ○感じたことが、音楽のどの諸要素と関係があるかを理解している。
C (つながり)	【考える・議論する】 ○曲の構成がどのようにになっているか、自分の言葉で伝えようとしている。	【多面的・多角的】 ○他者の意見を受容しながら、曲の構成と曲想との関りについて自分の考えを持つようとしている。	【他とのつながりを理解】 ○他者の意見を自分の考えと比較して聴き、その違いや共通点を見出すことができる。
E (応用)	【学びに向かう力】 ○曲の構成と曲想を関わらせ、良さ、面白さを自分の言葉で表現することができる。	【未知の状況への対応】 ○多角的・多面的な見方・考え方で対応することができる。 ○曲の構成と曲想との関りを理解し、他の楽曲ではどのような表現がされているかを考えようとしている。	【学びを生かそうとする力】 ○曲の構成と曲想との関りを自分なりに批評し、自分にとっての楽曲の価値を実感している。

【ICEモデル】



(全4時間)

次	学習活動	観点		生徒の思考の流れ	評価	
		関	鑑		◇評価規準	★資質・能力(評価方法)
1	<b>課題の設定</b> <b>情報の収集</b> ○交響曲第5番の冒頭を聴く ○これだけ有名なのはどんな特徴がこの曲にあるからかを予測する。 ○スコアの見方を確認する	○		本時の目標: 交響曲第5番の特徴をつかむ ・知っている。 ・ベートーヴェンといたらこの曲というくらい有名だ。 ・はじめの部分にインパクトがあるからかな。 ・何回も繰り返して出てくるかな。 ・迫力があるからかな。 ・曲がどうなっているのか楽譜からも探してみよう ・どの楽器が演奏しているのかな。	◇曲に関心を持ち、特徴を聞き取ろうとしている。 ★聞き取った曲の特徴を記述している。〔主体性〕(ワークシート)	
	単元を貫く課題 曲の構成に注目して聴き、曲の構成と曲想のかかわりをふまえて、曲の特徴と良さ・おもしろさを自分の言葉でまとめる。					
2	<b>情報収集②</b> <b>整理・分析</b> 本時の目標: 動機に注目して聴き、曲の構成と曲想とのかかわりを感じ取る ○動機がどのように表れているかを考える ○気づいたことと、それがどのような曲想を生み出しているかを考える ○第1楽章の特徴をまとめる	○		・繰り返してできている。 ・少し形が変わっているものもある。 ・何回も出てくると、追いかけていく感じがする。 ・すべての楽器で演奏することで迫力がでる。 ・曲の感じが変わってもずっと動機が出てくる。 ・このあとこの曲はどうなるんだろう。	◇曲の構成と曲想とのかかわりについて感じ取っている。 ★気づいた曲の構成と曲想がどうかかわっているかを考えようとしている〔協働的課題解決力〕(行動観察・ワークシート)	
	<b>情報収集③</b> 本時の目標: 他の楽章がどのような構成になっているかを知る。 ○他の楽章の構成と特徴を知る。 ○他の楽章では動機がどのように出てくるかを聞き取る。 ○動機が出てくることによって、どのような感じがするかを考える。					
3	○他の楽章の構成と特徴を知る。 ○他の楽章では動機がどのように出てくるかを聞き取る。 ○動機が出てくることによって、どのような感じがするかを考える。	○		・曲の感じが全然ちがう。 ・形式は違うけど、動機に似た形が聴こえてくる。 ・全然違う感じだけど、つながっているんだな。	◇他楽章では、動機がどのように出てくるかを聞き取り、発表することができる。 ★動機を聞き取り、1楽章との違いを説明することができる〔協働的課題解決力〕(ワークシート・発表)	
	<b>まとめ・創造・表現</b> 本時の目標: この曲の良さ・おもしろさを自分の言葉で表現する。 ○交響曲第5番を通して鑑賞する。 ○この曲の良さ・面白さを説明する文章を書く。					
4	○交響曲第5番を通して鑑賞する。 ○この曲の良さ・面白さを説明する文章を書く。	○		・通して聴くと、つながりがよくわかる。 ・ほかの曲でも、構成に注目して聴いてみよう。	◇曲の構成と曲想との関りに注目して、曲の良さ、面白さを説明することができる。 ★曲の構成と曲想のかかわりに触れながら説明している。〔振り返り力〕(ワークシート)	

## パフォーマンス課題

育てたい資質・能力	主体性, 協働的課題解決力, 振り返り力(メタ認知力)
教科の評価規準	曲の構成と曲想とのかかわりを理解し, 曲の良さ, 面白さについて根拠をもとに自分の考えを表現することができる。

### パフォーマンス課題のシナリオ

ベートーヴェンが作曲した交響曲第 5 番は, 誰もが一度は耳にしたことがあると思います。これだけ長い間, 全世界で知られ, 人々に愛されるようになったのはなぜでしょうか? その理由を曲の特徴から考え, 自分の言葉で説明しましょう。

### 予備的ルーブリック

尺度(レベル)	記述語(パフォーマンスの特徴)
3 理想的	曲の構成と曲想とのかかわりを踏まえて, 第1楽章だけでなく, 曲全体を通しての特徴をとらえて記述している。
2 合格	曲の構成とそこからどのような効果や曲想が生まれているかについて記述している。
1 乗り越えさせたい実態	曲の構成について注目することができていない。曲から感じたことのみ記述していて, その根拠や理由があいまいである。

## 本時の学習

(1) 本時の目標

動機の反復や変化, 旋律の組み合わせを知覚し, それらと曲想とのかかわりを感じ取る。

(2) 本時の評価規準

動機がどのように反復, 変化しながら曲がつくられているかを理解し, そこからどのような雰囲気が出ているかについて自分の考えを持っている。

(3) 準備物

ワークシート, 拡大スコア, ホワイトボード

(4) 本時の展開

学習活動	指導上の留意事項(◇) ◆努力を要する状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準(評価方法)	資質・能力(評価方法)
1 前時の学習内容を振り返る			
○曲について前時で学習したことを振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;">課題の設定</div>			
2 本時の課題を確認する			
○課題を把握する。 【本時の目標】	◇前時で気づいたこと・考えたことを発表させ, 本時の目標とつながりをもたせる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">動機に注目して聴き, 第1楽章の特徴とそれがどんな感じをうみだしているかをまとめる</div>		
	◆この曲の動機の音型を示す。		
3 動機に注目して聴き, 曲がどのようにつくられているかをつかむ。			
○第1楽章提示部までを聴き, 動機がどのように現れているかをまとめる。	◇スコアを見ながら, どのように反復・変化しているか, どの楽器が演奏しているかなども注目させる。  ◇できるだけ具体的な言葉で説明させる。  ◆動機と同じような音型をスコアの中から探させる。		どのように反復・変化しているかを, 進んで説明しようとしている。 〔主体性〕(行動観察)
4 曲の特徴と曲想とのかかわりを言葉で表現する			
○気づいた特徴がどのような曲想を生み出しているかを考える。	◇  ◆曲を聴いてどういうイメージをもったかを出させ, それが曲のどの部分だったかを考えさせる。	曲の構成と曲想とのかかわりを感じ取っている。(行動観察)	曲の構成がどのような曲想とのかかわりがあるかを考え, 自分の意見を持っている。〔協働的課題解決力〕(行動観察)

<p>○各グループでの考えを 発表し、全体で意見交換 をする。</p> <p style="text-align: center;"><b>まとめ・表現</b></p>			
<p>5 第1楽章を通して聴き、特徴と曲想との関わりをまとめる。</p>			
<p>○全体で交流したことを もとに、自分の言葉で書く 。</p>	<p>◇全体交流で出てきたキーワードを使 って書かせる。</p> <p>◆全体交流で出てきた意見から、なる ほどと思ったことを中心に書くよう 促す。</p>	<p>曲の構成と曲想との かかわりについて、 自分の考えを文章で まとめている。(ワー クシート)</p>	<p>意見交換したことをも とに、自分の考えを文 章でまとめることがで きる。[協働的課題解 決力](ワークシート)</p>
<p>本時のゴールとなる具体的な記述例 はじめに力強く動機が演奏されたあと、楽器を変えながらたたみかけるように動機 がでてくるので、何かが迫ってくるような感じがする。途中で曲の感じが優しくなっ ても、どこかで動機に似た形が演奏されていて、とても印象にのこる。</p>			
<p>6 本時を振り返り、次時につなげる。</p>			
<p>○まとめを全体で交流す る。</p> <p>○第2楽章以降も動機が 現れていることにふれ る。</p>			